

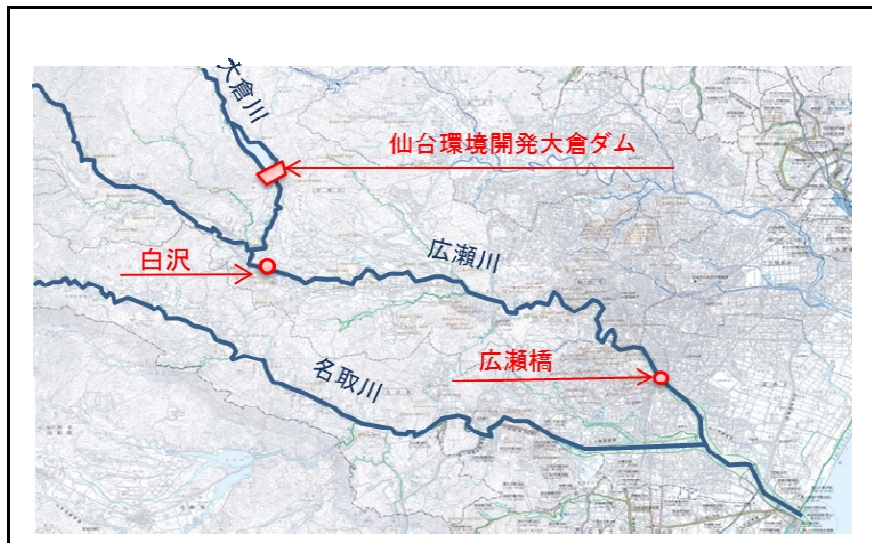
一級河川名取川水系 大倉川 大倉ダムの効果(令和6年9月21日)【速報】

宮城県

○大倉ダムでは前線の影響により、**流域平均の累計雨量が103mm、最大時間雨量では8mmを記録しました。**これによるダムへの最大流入量は、計画1,200m³/sに対し、**146.03m³/sを記録しました。**

○今回の洪水調節により**最大流入時の95.8%(139.95m³/s)を貯留し、**下流河川の水位上昇を軽減しております。

ダムの位置図



ダムの状況写真



貯水位 EL. 257.26m

(洪水前 9月19日 11時00分)



貯水位 EL. 259.20m

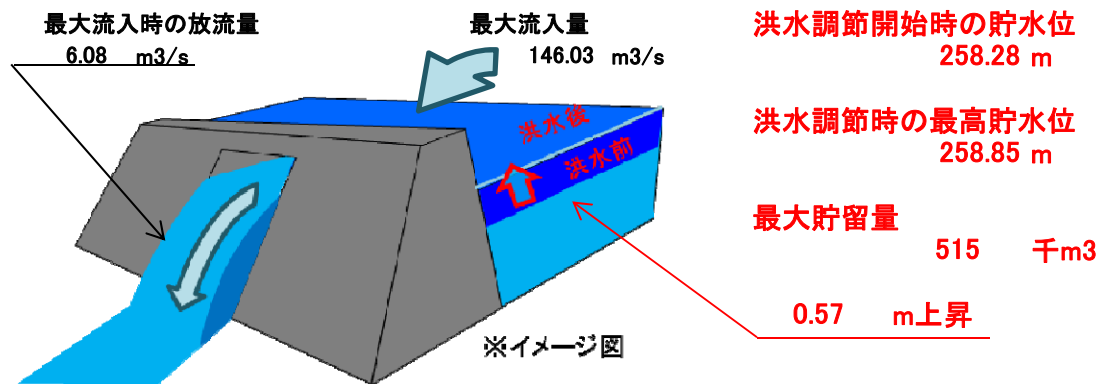
(洪水後 9月21日 10時30分)

大倉ダムの洪水調節実績

・洪水調節 開始	21日 7時 50分	終了	21日 9時 10分
・ダム流域累計雨量	103 mm	(20日 7時 ~ 21日 15時)	
・最大時間雨量	8 mm	(21日 5時 ~ 21日 6時)	
・ダムへの最大流入量	146.03 m ³ /s	(21日 8時 30分)	
・最大流入時の放流量	6.08 m ³ /s		
・ダムによる最大調節量	139.95 m ³ /s	(約 95.8%)	

大倉ダムによる調節量

最大流入時に、流入量の 95.8% をダムに貯留しました。



○大倉ダムの洪水調節等により、広瀬川の白沢地点で水位を約0.98m低減させる効果があったものと推測されます。

下流河川の状況写真

(上流側)



(下流側)



水位 -0.30m 流量 $2.00\text{m}^3/\text{s}$

白沢水位観測所(洪水前 9月19日 11時00分)

(上流側)

(下流側)



水位 1.05m 流量 $101.70\text{m}^3/\text{s}$

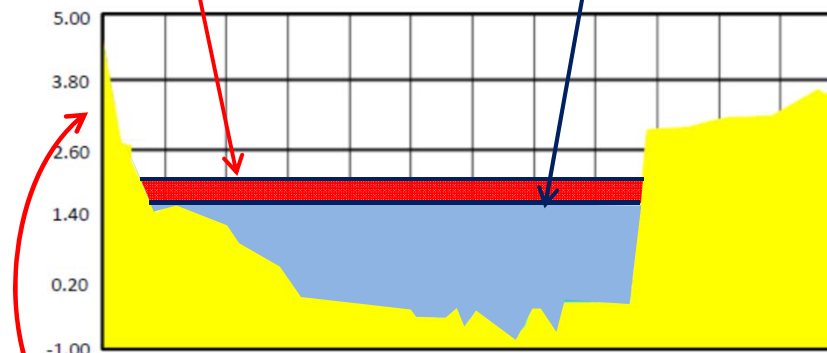
白沢水位観測所(洪水後 9月21日 10時30分)

広瀬川(白沢地点)の水位低減効果

ダムがなかった場合の水位(推測)
 2.17 m

実績水位 (21日 9時10分)
 1.19 m

大倉ダムの洪水調節状況(白沢地点)



ダムにより約0.98mの
水位低減効果を推測